

平成19年度 第5回佐渡市行政改革推進委員会

1. 日 時 平成20年3月26日(水) 14:00~17:15

2. 場 所 佐渡市役所 2階 第1会議室

3. 出席者 15人

推進委員		事務局	
会 長	中川英男	総務部長	斉藤英夫
職務代理	金子剛	総務部行政改革課長	藤澤一雄
委 員	伊藤稔	総務部行政改革課長補佐	清水忠雄
"	宇留間博	総務部行政改革課行政評価係長	加藤留美子
"	甲斐逸枝	総務部行政改革課行政評価係主任	笠井貴弘
"	平田緑	総務部行政改革課行政推進係長	丹下高晴
"	山本初子	総務部行政改革課行政推進係主任	北見太志
"	山本保孝		

4. 会議内容

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

1) 中間答申書の作成について

2) 意見交換

4 その他

5 閉会

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

1) 中間答申書の作成について

【事務局の説明】

中間答申(案)については、本日の開催通知文と併せて事前に郵送させていただき、予め各委員から意見をいただいた。その意見を反映して作成した中間答申(案)が資料 1 になる。事前に郵送した中間答申(案)から変更があった箇所を示したものが資料 2 の赤字部分になる。

また、本日都合により欠席されております、田村先生にも確認いただいたので、その内容についても反映させてある。

本日は只今、説明した資料を確認いただき、中間答申内容を協議いただきたい。

【委員の意見】

資料 2 を拝見させていただいたが、係員に浸透していないところもあるし、部局長のリーダーシップのもとに実施しているのなら、もう少し効果や成果があるのではないかとと思うので、もう少し厳しく、部、課、係が一体となって物事を考えていただきたい。

【委員の意見】

意欲、意識が取り組み前と全く変わっていない。2年目で慣れが生じている感じを強く受けた。文面については、これで良いと思う。意識改革に関する文面があれば追加したいとは思っている。

【委員の意見】

行政改革大綱或いは集中改革プランを策定して、数多い中から重点的に進めていくマニフェストを実施してきたが、限定された評価になる。色々な意見が出るのは当然だと思う。評価の結果もさることながらPDCAサイクルが大事である。末端の職員まで理解されているのかと振り返ると必ずしもそこまでいっていないと感じる。チェック、アクションができているのか。このサイクルに対して、必ずしも理解がされていない。もう少し時間が必要である。機会があるごとに各部局とキャッチボールをし、末端の職員まで理解されるには今後もPDCAサイクルを継続していただきたい。

なお以下で追加された内容は、中間答申のため何とも言えないのだが、総合的な評価を実施する際に記載した方が良いのではないかと感じる。

【委員の意見】

これで良い気がする。意識をもってもらうために、中間答申であっても繰り返し実施するために記載した方が良いと思う。

【委員の意見】

一部の人だけ意識があって、他の職員に伝わっていない状況である。一部の人だけの行革にならないようにしてほしい。提出期日を守れなかった事を説明しているようでは、その人の資質を問われる。一人ずつが変わっていかなければならない。PDCA、必ず評価があることを認識することによって行政改革が進むと思う。職員に浸透する方法を考えなけ

ればならない。赤字部分は以前よりも分かりやすく、これで良いと思う。

【委員の意見】

みなさんと同じであるが、なお以下で追加された内容は良いと思うが、記入箇所は別のところが良いのではないか。

【会長】

なお以下で追加された内容を後にまわすか、もしくは20年度の提言内容にまわすか、色々な考え方があると思うが、最初にはっきりと記載する考えもあるかと思うがこの案のままではいかかがか。

【委員の意見】

最初にはっきりと打ち出したほうが良いと思う。

【委員の意見】

最初にはっきりと打ち出したほうが、説得力があると思う。喚起を促すという意味では最初のほうが良いと思う。

【委員の意見】

これで良いと思う。

【会長】

赤字で修正した形で良いでしょうか。

【全員】

はい。

【会長】

次に各部局の評価結果の内容について、意見をいただきたい。文言の一部訂正が主体となっているが、内容は各委員が記載した評価シートの特記事項欄から抜粋したものである。

今後のことも含めて、評価シートを記入しながら、特記事項に書く評価理由、どのようなことを感じながら書いたか、お気づきの点があれば教えていただきたい。

【委員の意見】

特記事項は書かなかった。あのままで良いと思う。

【委員の意見】

特記事項に書かせていただいた文言は、市民の立場になって、市民の視点で考えた場合で書いている。あのままで分かりやすく良いと思う。

【委員の意見】

一言書きたい場合は、特記事項の欄があったほうが良い。現在のままで良いと思う。

【委員の意見】

評価する時に各部局長に過程を要求している。それと同じように我々も評価過程を特記事項に書くことができるので、あったほうが良い。

【委員の意見】

各部局にすべて書くかという別だが、評価は非常に難しいわけで、ある程度、褒める部分があっても良いと思う。指摘事項が中心となっているが、褒められる部分を見つけて評価することも必要ではないかと思っている。

【委員の意見】

項目ごとに一つずつは必要ないと思う。ある程度、総合的な判断ができるものであれば

良いと思う。

【委員の意見】

各部局、性格が異なるわけだがどのようにして軌道に乗せるか、また消化しようか取組過程が欠落している感じがした。各委員の資質が違うようにそれぞれ考え方が違うのだろうが、本当に褒めてあげたい部署と徹底的に直さなければならない部署と二極化している。できなかった場合、どのような対策をして構築していくかというところを直していただきたい。項目はたくさんあったほうが良いと思う。

【会長】

当然、特記事項が出てくるのは当たり前だし、記載欄も欲しいわけだが現委員の中にもそういう意見もあったということで、事務局は頭に入れておいてもらいたいと思う。それで20年度以降に繋げていただきたいと思う。

【委員の意見】

2ページ、企画財政部の取組過程の評価に一部意識の疎通とあるが、一部ではないと思うので、一部を削除したほうが良いのではないかと。

【会長】

そのとおりであるが、内容の理解が大変だったのではないかと。その点を含めて一部の表現としたのではないかと。

【委員の意見】

一人欠けたために組織がストップしてしまうのは大変なことである。

【委員の意見】

民間企業ではまかり通らないことである。

【会長】

各委員の意見は十分理解できるが、その旨は総務部長から何かの機会に話してもらいたい。それでいかがか。

【全員】

はい。

【委員の意見】

資料の中身を見ると、無難なところは出ているが、本当に取組まなければならない項目が大きく抜けている部局がある。出来る限り委員会の中で指摘されたことについては、来年度からでも良いので対応してもらいたい。

【会長】

行政には一層の努力をしていただきたい。

2番の評価結果については、これでよいか。

【全員】

はい。

【会長】

3番目の提言には6項目あがっている。特記事項の中からのようであるが、いかがか。

【委員の意見】

先ほどの重要な項目が掲げられていないという点、意識の問題にも絡んでくるが、プレゼンテーション前に行革推進本部で議論がなされたのか。理想は行革推進本部で調整され

ることが望ましいと思う。

【総務部長の回答】

行革推進本部でも議論している。

【会長】

答申書の中身はこれで良いか。

【全員】

はい。

【事務局の説明】

市長への答申は3月31日(月)午前11時30分から11時45分で予定している。会場は本庁2階の市長応接室になる。都合のつく方は、同席願いたい。

2) 意見交換

【事務局の説明】

来年度組織について説明させていただく。

本庁については6部24課9室の数の変更はない。係については行政需要に対応するために新設しており、75係から84係に増えている。考え方の基本は、スクラップ&ビルドでやらせていただいた。今回新設した課は総務部の国体推進課と企画財政部の交通政策課である。逆に減らした課は総務部の秘書課と産業観光部の水産課である。また一部業務内容の変更により課の名称を企画財政部の工事管理課を契約検査課に、市民環境部の環境課をトキ共生・環境課に改めた。企画財政部の中に総合政策主幹と言う部署を設けた。議会からは部制について再検討するべきとの意見もあったが、もう少し部制の在り方について検証させていただきたいということで、理解いただいたところである。

支所については、今年度、支所パターン と支所パターン としていたが、20年度は拠点支所とそうでない支所の2パターンとした。狙いとしては、拠点支所とした支所については将来も支所として総合的な役割を担っていただきたいと思っている。それ以外の支所については、将来的に市民サービスセンター、窓口業務に特化していく出張所としての取扱いとしたいと思っている。拠点支所は両津、相川、羽茂の3つと考えている。それ以外の支所については課を設置しない方向で検討していたが、議会等への説明の中で色々な議論があり、課の数を拠点支所に比べて減らした形で管理部門と事業部門の2課体制とした。行政委員会、消防の関係は、従前のままで変更はない。

職員の異動関係であるが、来年度は国県との人事交流を積極的に実施する。初めて国に2名派遣する。県にも昨年に引き続き4名派遣する。異動規模は381人。昨年は350人。昨年より31人増えている。その要因は支所の組織変更によるものである。今年度92名が退職になる。採用者との差引は79名が減員になる。組織及び人事異動の関係については、以上である。

【会長】

今、説明いただいたこと、それから過去3ケ年の委員会で気付いたこと等について、意見交換をしたいと思う。

【委員の質問】

人事考課が導入されているという話を聞いたがどうか。

**【総務部長の回答】**

平成19年度から試行として取り組んだが、これで良いのかという思いを抱きながらやっている。今回3月の評価の取りまとめ中である。

**【委員の質問】**

公共施設の見直し方針が公表され、既に統廃合を実施している部署があるが、市民や地域への説明がない。

**【事務局の回答】**

造ることに関しては慣れているが、廃止するような事に慣れていないことが要因と考えられる。市民説明を徹底するよう周知したい。

4 その他

特になし。

5 閉会

職務代理あいさつ